会　議　概　要

会議の名称	令和４年度 第１回湧別町スポーツ推進委員会議
開催日時	令和４年４月２７日（水）　　１８時３０分　開会 １９時３０分　閉会
開催場所	文化センターさざ波　多目的ホール
出席者名	委員：石川、小橋、鈴木、木村、海谷、水牧、藤崎各委員　７名 教育委員会：阿部教育長、坂本課長、藤本主幹、原主事　　４名
欠席者名	黒田、峯田、白田、岸下、岸各委員　５名
傍聴人の数	なし
会議の内容	議案第１号　令和４年度スポーツ振興事業・予算について 協議第１号　ゆうべつ五鹿山マラソン２０２２について 協議第２号　チャレンジデー２０２２について 協議第３号　第２次社会教育中期計画のふりかえりについて 協議第４号　第３次社会教育中期計画について 協議第５号　湧く湧く「スポーツ推進委員さんのある一日」記事寄稿の順番について 協議第６号　令和４年度研修予定について
会議資料	令和４年度第１回スポーツ推進委員会議議案
会議録	■　有　（　□全文筆記　　■要点筆記　） □　無
備考	

てん末書

記録者職氏名
社会教育課　社会教育グループ
主事原　茉畝　印

１．日　時　　令和４年４月２７日（水）　１８時３０分 から １９時３０分まで

２．場　所　　湧別町文化センターさざ波　多目的ホール

３．会議又は用務　令和４年度 第１回湧別町スポーツ推進委員会議

４．出席者　　委　　員：石川、小橋、鈴木、木村、海谷、水牧、藤崎各委員　　７名
（欠席委員～黒田、峯田、白田、岸下、岸各委員）
教　　委：阿部教育長、坂本課長、藤本主幹、原主事　　４名
合計１１名

５．結果要旨

１）開　　会　　坂本課長

２）委嘱状交付　　阿部教育長

３）教育長挨拶

※議事に入る前にスポーツ推進委員と教委職員の自己紹介を行った。

４）議　　事

■議案第１号　令和４年度スポーツ振興事業・予算について

・事務局より説明。了承を得た。

■協議第１号　ゆうべつ五鹿山マラソン２０２２について

・５月８日（日）に開催される体育協会主催の「ゆうべつ五鹿山マラソン２０２２」について、コロナウイルス感染防対策を充分講じた上で実施することと、競技の運営協力については、スポーツ推進委員があたることを伝え、当日の役割を事務局より説明。

■協議第２号　チャレンジデー２０２２について

・５月２５日（水）に開催される「チャレンジ・スポーツデー」のオープニングイベントとして町民ラジオ体操会が町内３会場（さざ波、ＴＯＭ、農村センター）で実施されるため、当日の指導協力として各会場についてもらうスポーツ推進委員を下記のとおり決定した。

① さざ波消防側駐車場（雨天の場合大ホール）　：未定
② ＴＯＭ北側駐車場（雨天の場合中湧別ＧＢ場）　：小橋委員
③ 上湧別の農村センター（雨天の場合多目的ホール）：未定

なお、欠席した委員は、後日確認するものとする。また、各会長でラジオ体操終了後に各会場共通のストレッチを実施するため、ストレッチ方法について運動指導職員の原より説明。

■協議第３号　第２次社会教育中期計画のふりかえりについて

・令和２年・３年と新型コロナウイルス感染症の影響で事業等が中止になることが多く、思うような活動ができなかった。徐々に以前の活動の形に戻していけたらよい。と委員からのふりかえりがあった。

■協議第４号　第３次社会教育中期計画について

・詳細については、別紙資料を元に藤本主幹より説明。

・スポーツの分野については、スポーツ推進委員で会議を運営、協議することとなり、事務局で素案を作成した資料を参考に、意見や要望を出してもらい意見を反映して社会教育委員の会へ提出する。

・会議にはオブザーバーとして社会教育委員長が出席を予定していると説明した。

■協議第５号　湧く湧く「スポーツ推進委員さんのある一日」記事寄稿の順番について

・毎月１回発行している生涯学習情報誌「湧く湧く」について、スポーツ推進委員の枠を次の順番でお願いしたい旨を伝え了承した。（５月号：海谷委員、７月号：岸下委員、１０月号：木村委員、１２月号：峯田委員、３月号：岸委員）

・なお、原稿依頼については、１ヶ月前に依頼文書を送付する旨を伝えた。

■協議第６号　令和４年度研修予定について

・今年度の研修会について事務局より説明。開催の時期が近づいてきたら案内する旨を伝えた。

① 遠軽・紋別ブロックスポーツ推進委員研修会

・期　　日　令和４年９月１０日（土）

・場　　所　滝上町スポーツセンター

・研修人員（４名）：藤崎委員（残り３名は後日確認）

②オホーツク管内社会体育振興セミナー

（兼北見・網走ブロックスポーツ推進委員等研修会）

・期　　日　令和４年１０月２９日（土）～３０日（日）１泊２日

・場　　所　訓子府町・北見市

・研修人員（４名）：小橋委員、海谷委員（残り２名は後日確認）

③ 北海道スポーツ推進委員研究協議会

・期　　日　未　定

・場　　所　釧路市　研修人員　３名　後日確認することとした。

５）そ　の　他

６）委員長挨拶・閉　会

令和４年度
第１回湧別町スポーツ推進委員会議案

と　き　令和４年４月２７日（水）
　　午後６時３０分
ところ　文化センターさざ波　多目的ホール

＜会　議　日　程＞

委嘱状交付

１．開　　会

２．委員長挨拶

３．教育長挨拶

４．議　　事

議案第１号	令和４年度スポーツ振興事業・予算について	Ｐ 1～ 4
協議第１号	ゆうべつ五鹿山マラソン２０２２について	Ｐ 5～ 6
協議第２号	チャレンジデー２０２２について	Ｐ 7～12
協議第３号	第２次社会教育中期計画のふりかえりについて	Ｐ13
協議第４号	第３次社会教育中期計画について	Ｐ14～22
協議第５号	湧く湧く「スポーツ推進委員さんのある一日」記事寄稿の順番について	Ｐ23

協議第６号　令和４年度研修予定について

① 遠軽・紋別ブロックスポーツ推進委員研修会
- 期　　日　令和４年９月１０日（土）
- 場　　所　滝上町スポーツセンター
- 研修人員　４名（　　）

② オホーツク管内社会体育振興セミナー（兼北見・網走ブロックスポーツ推進委員等研修会）
- 期　　日　令和４年１０月２９日（土）
　　～３０日（日）１泊２日
- 場　　所　訓子府町・北見市
- 研修人員　４名（　　）

③ 北海道スポーツ推進委員研究協議会
- 期　　日　未　定
- 場　　所　釧路市
- 研修人員　３名（　　）

５．そ　の　他

６．委員長挨拶・閉　会

湧別町教育委員会

スポーツ推進委員名簿

役　職	氏　　名	住　　所	出欠
委 員 長	石　川　克　己	錦町	
副委員長	小　橋　百合香	中湧別南町	
	鈴　木　義　広	中湧別北町	
	黒　田　志津保	中湧別中町	
	白　田　ゆかり	栄町	
	木　村　　栄	芭露	
	峯　田　ゆかり	上湧別屯田市街地	
	海　谷　政　貴	中湧別北町	
	岸　下　彩　乃	中湧別南町	
	岸　　貴　元	中湧別中町	
	水　牧　一　郎	中湧別南町	
	藤　崎　俊　介	中湧別南町	

（教育委員会）

役　職	氏　　名
教育長	阿部　　勉
社会教育課長	坂本　雄仁
社会教育課主幹	藤本　祐司
社会教育グループ主事	原　　茉畝

■ 教育委員会出席者名簿

・阿部教育長
・坂本課長
・藤本主幹
・原主事

（会　議　日　程）

１）開　　会
２）委嘱状交付
３）委員長挨拶
４）教育長挨拶
５）議　　事

議案第１号　令和４年度スポーツ振興事業・予算について　Ｐ 2～ 4
協議第１号　ゆうべつ五鹿山マラソン２０２２について　Ｐ 5～ 6
協議第２号　チャレンジデー２０２２について　Ｐ 7～12
協議第３号　第２次社会教育中期計画のふりかえりについて　Ｐ13
協議第４号　第３次社会教育中期計画について　Ｐ14～22
協議第５号　湧く湧く「スポーツ推進委員さんのある一日」記事寄稿の順番について　Ｐ23

協議第６号　令和４年度研修予定について
④ 遠軽・紋別ブロックスポーツ推進委員研修会
・期　　日　令和４年９月１０日（土）

・場　　所　滝上町スポーツセンター
・研修人員　４名（　　）

⑤ オホーツク管内社会体育振興セミナー（兼北見・網走ブロックスポーツ推進委員等研修会）
・期　　日　令和４年１０月２９日（土）
～３０日（日）１泊２日
・場　　所　訓子府町・北見市
・研修人員　４名（　　）

⑥ 北海道スポーツ推進委員研究協議会
・期　　日　未　定
・場　　所　釧路市
・研修人員　３名（　　）

6）そ　の　他
7）委員長挨拶
8）閉　　会

議案第１号

令和4年度スポーツ振興事業・予算

領域	事　業　名	期　日	場　所	計　画　内　容	予算額	中期計画推進項目
大会の開催等	第37回サロマ湖100kmウルトラマラソン【中止】	6/26（日）	湧別総合体育館裏	100ｋｍスタート午前5時00分（100kmの部） 総合体育館裏（東道路上） **※スマートフォンを活用した代替大会を検討**	負担金3,000千円	9-1 9-2 9-3 9-4
	湧別町少年柔道大会「上野カップ2022」	10/8(土)～9(日)	湧別総合体育館・武道館	本町のふるさと応援大使であり、柔道オリンピックメダリストの上野姉妹の冠を掲げた全道規模の小・中学生の柔道大会を開催することにより、少年相互の親睦を深め、町の活性化や交流人口の増加を図る。 参加規模：道内外小・中学生400名 大会には上野姉妹のほか、現役の女子柔道の著名人を招致する予定。	歳入総額 2,986千円 参加料700千円 スポーツ振興くじ 2,286千円 歳出総額 3,593千円	
	第47回町民300歳ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ大会	12/4（日）	湧別総体・中湧総体	自治会対抗形式9人制バレーボール大会	消耗品31千円 食糧費33千円	
スポーツ教室・講習会事業	町民ランニング教室	6/12（日）	百年記念広場	基本姿勢から高度な技術、さらには運動前後のストレッチを習得することで、運動能力の向上や怪我の予防、運動を始めるきっかけづくりを図る。 ①ランニング教室（成人）　②陸上教室 講　　師：作．ＡＣ北海道代表　作田　　徹　氏 作．ＡＣ北海道　　菊地　真司　氏 作．ＡＣ北海道　　澤井　　玄　氏 サポート：北海学園大学陸上部 対象：小学生～一般	講師謝礼 １２０千円	9-1 9-2 9-3
	ボルダリング体験教室	5月～6月	中湧別総合体育館	ボルダリングの基礎を学び楽しみ方を味合わせるとともに、技法を習得させる。 講師：遠軽高校山岳部監督　畑野　和宏　氏 対象：小学生	講師謝礼 10千円	
	スラックライン体験教室	5月～6月	中湧別総合体育館	スラックラインの基礎を学び楽しみ方を味合わせるとともに、技法を習得させる。 講師：北海道ｽﾗｯｸﾗｲﾝ代表　山森　和也　氏 対象：小学生～一般	講師謝礼 60千円	
スポーツ教室・講習会事業	ジュニアスイミングスクール	7月、8月	湧別プール	正しい泳法を習得させるとともに、泳ぐことの楽しさを味合わせ、水泳の普及拡大を図る。	講師謝礼 48千円	9-1 9-2 9-3
	【新規】 ニュースポーツdeあそぼ	9月～11月	湧別総体他	町内の成人層を対象にスポーツを通じて健康や体力づくりを高めるきっかけづくりと新しいスポーツの普及や地域の活性化を図る。 指導者　運動指導職員　原　茉畝 月2回（9月～１１月予定）ニュースポーツ等を実施。	－	
	少年少女初心者スケート教室	R5. 1月予定	芭露スケートリンク	初心者に対してスケートの楽しさを味合わせるとともに、技法を習得させる。	講師謝礼 12千円	
	クロスカントリースキー教室	R5.2/4（土）	五鹿山スキー場	スキーの楽しさを味合わせるとともに、初心者から上級者まで幅広い技法を習得させる。 講師：NPO法人北海道ライフスポーツ推進協会 理事長　島田　武彦　氏	講師謝礼 60千円 スポーツ推進委員 報酬7千円	
	健康運動教室	4月～3月	湧別総合体育館	トレーニング器具等を使った個人（または集団や団体）指導を行うことにより町民に健康維持増進と体力の向上を図る。 担当：運動指導職員　原　茉畝	－	
	運動指導	4月～3月	湧別総合体育館他	①湧別総合体育館トレーニングルーム指導 水・金（ ９：００～１１：００） 火・木（１４：００～１６：００） ※曜日・時間は変更する可能性有 ②個別運動相談・トレーニングメニュー作成 ③保健福祉分野との連携	－	

令和4年度スポーツ振興事業・予算

領域	事　業　名	期　日	場　所	計　画　内　容	予算額	中期計画 推進項目
スポーツ推進委員事業	チャレンジスポーツスクール事業	5月～3月	湧別総合体育館他	低学年から様々なスポーツに触れることで、自分に合ったスポーツを見つけ出すきっかけづくりと、学校を越えた友達づくりの一助とする。 5月　五鹿山マラソン・入学式（五鹿山ロッジ） 6月　フットベース　（湧別総合体育館裏） 7月　キャンプ　（湧別総合体育館裏） 8月　室内雪合戦　（湧別総合体育館） 9月　パークゴルフ　（湧別運動公園） 10月　風船バレー・ミニバレー（湧別総合体育館） 11月　カローリング・ハッピーボーリング・ペタンク（湧別総合体育館） 12月　フロアボール　（湧別総合体育館） 1月　スケート体験・氷上ホッケー（芭露スケートリンク） 2月　タグラグビー　（湧別総合体育館） 3月　ミニ運動会・卒業式（湧別総合体育館）	講師謝礼 パークゴルフ 5千円 フロアボール 10千円 タグラグビー 5千円 スポーツ推進委員 報酬269千円	9-1 9-2 9-3
	巡回スポーツ指導	随　時	町　内	自治会・老人クラブ等の要請に基づき、スポーツ推進委員が出向き、軽スポーツやレクリェーションの指導を行う。	スポーツ推進委員 報酬13千円	9-2 9-3
	スポーツ推進委員研修	随　時	管内 道内	町民のスポーツ活動の的確な支援を行うため、研修を通じて委員としての資質向上を図る。 遠軽・紋別地区スポーツ推進委員研修会 オホーツク管内社会体育振興セミナー 北海道スポーツ推進委員研究協議会	スポーツ進委員 報酬122千円 費用弁償98千円	
団体活動の育成援助等	少年スポーツ団体の育成援助	年　間	-	少年団本部への補助	補助金600千円	9-2 9-4
	一般スポーツ団体の育成援助	年　間	-	体育協会への補助	補助金735千円	
	大会出場助成	年　間	-	全道大会以上の出場者に対して遠征費の一部を助成する。（湧別町スポーツ・文化遠征費補助金）	補助金2,000千円	
	合宿誘致助成	年　間	各施設	合宿を誘致することにより町のスポーツの振興を図る。 （湧別町スポーツ・文化合宿誘致事業補助金）	補助金1,464千円 詳細は別紙関連事業に記載のとおり	
施設の整備活用	施設の整備	年　間	各施設	施設の点検、適正な維持管理を図る。	詳細は別紙社会教育施設整備計画のとおり	9-4
	施設の活用	年　間	各施設	指定管理施設の適正かつ効率的な運営に対する監督、学校開放施設に関する利用調整など体育施設の有効活用を図る。	学校開放運営報償 120千円	
その他	スポーツ安全保険の加入促進	随　時	-	広報及び事故手続き等の補助	-	9-2

中期計画推進項目の欄は、第２次湧別町社会教育中期計画における推進項目との対応を示すものです。

中期計画における領域	推進項目	表記
第９節　スポーツ活動とスポーツ施設整備	生涯スポーツの普及	9-1
	活動等の支援	9-2
	学習環境づくり	9-3
	連携ネットワーク	9-4

令和4年度　関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事　業　名	期　日	場　所	計　画　内　容　等	備　　考

令和4年度　関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	備考
体育協会	ゆうべつ五鹿山マラソン2022	5/8（日）	五鹿山スキー場	五鹿山スキー場を駆け上がるマラソン大会を実施することにより、町民の体力増進や健康づくりを高めるきっかけづくりと地域の更なる一体感の醸成を図ることを目的とする。	教委、スポーツ推進委員も運営協力
実行委員会	チャレンジデー2022	5/25（水）	町内	住民総参加型のスポーツイベントである「チャレンジデー」に参加し、町民の健康づくりや体力づくり、スポーツやレクリエーション活動への参加意欲の高揚と習慣化を推進する。	
	駒澤大学合気道合宿	7月～8月	レイクパレス	合宿中に行われる公開練習や演武会、教室等の開催により合気道の普及を図るとともに町民との交流を図る。 合宿予定人員：30名予定	
	合気道正道友和会合宿	9月	レイクパレス	町内で合宿を行い、公開練習等を通して町民と交流を図るとともに合気道の普及を図る。 合宿予定人員：10名予定	
	北柔会関連道場柔道合宿	10月	湧別総合体育館	柔道合宿のほか、町内の子ども達に対する柔道教室を開催することで、柔道の普及、交流人口の拡大を図る。 合宿予定人員：80名（指導者含む）予定	
	湧別原野ｵﾎｰﾂｸﾛｽｶﾝﾄﾘｰｽｷｰ大会	R5. 2/26 （日）	遠軽町 →湧別町	原野コース80㎞、北大雪コース56㎞、遠軽コース22㎞、湧別コース24㎞、10kmコース、5㎞コース、駅伝コース95㎞	

令和4年度社会教育施設整備計画（500千円以上または主要なもの）

（単位：千円）

施　設　名	改修・整備等内容	事業費	備　考
湧別総合体育館	トレーニング機器リース機器購入 トレッドミル、アップライトバイク インパクトチェストプレス インパクトラットプルダウン インスティンクトペクトラルフライ/リアデルト インスティンクトレッグプレス/カーフ インスティンクトレッグエクステンション/カーフ 各1台（合計7台）	リース4月～6月3ヶ月分 325 購入987	令和4年6月30日でリース期間満了のため買取
湧別総合体育館	ＬＥＤ化改修工事	2,400	外灯6灯
湧別プール		12,900	場内42灯
中湧別総合体育館	高圧受電設備改修工事	800	
湧別総合体育館	手押し式芝刈機の購入	565	
湧別屋内ゲートボール場	非常用放送設備工事	1,940	
五鹿山スキー場	リフト緊張索更新及び誘導滑車整備工事	6,150	

協議第１号　「ゆうべつ五鹿山マラソン２０２２」開催要項

１．目　　的
五鹿山スキー場を駆け上がるマラソン大会を実施することにより、体力増進や健康づくりを高めるきっかけづくりと地域の更なる一体感の醸成を図ることを目的とする。

２．主　　催　湧別町体育協会

３．後　　援　湧別町教育委員会

４．協　　力　湧別町スポーツ推進委員

５．期日・会場　令和４年５月８日（日）五鹿山スキー場ロッジ前
受　　付　午前８時３０分　開会式　午前９時００分
競技開始　午前９時２０分予定

６．競技種目　①小学生の部（小１～３年）（約 300m）
②小学生の部（小４～６年）（約 600m）
③中学生の部（男子の部、女子の部）（約 2km）
④高校生の部（男子の部、女子の部）（約 2km）
⑤一般の部　（男子の部、女子の部）（約 2km）

７．参加資格　オホーツク管内に在住する小学生から一般の方

８．参 加 料　一　　般　１，０００円
※湧別町民又は町内勤務の方は５００円
高校生以下　　５００円
※湧別町民又は湧別高校生の方は無料
※参加料は当日受付時に徴収します。

９．表　　彰　各部門１位～３位まで賞状及び副賞を授与する。

10．申込方法　下記問い合せ先へ電話・FAX・メールにて**４月２５日（月）**までにお申し込み下さい。
※申し込みの際は、住所・氏名・性別・年齢（学年）・連絡先・町内勤務（町外の方のみ）の有無をお伝え下さい。

11．参 加 賞　参加者全員に参加賞と完走証をお渡し致します。

12．注意事項　①コース内では参加者自らの責任において接触事故等の防止に努めて下さい。
②コース内の道幅の狭い部分では係員の指示に必ず従い、参加者同士の接触等がないよう努めて下さい。
③芝の保護のためパークゴルフ場内になるべく立ち入らないようにして下さい。
④大会会場の往復又は会場内での事故、盗難等は主催者側では一切責任を負いません。
⑤申込者は大会開催中の映像、写真、記録、参加選手の氏名、年齢、都道府県、市町村名等が大会プログラムの印刷物及びテレビ、インターネットへ使用されることを承知すること。
⑥本大会は、（公財）日本スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた感染症予防ガイドライン」に準じ、別紙の新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で開催いたします。

13．問い合せ先
〒099-6404　紋別郡湧別町栄町 219-1
「ゆうべつ五鹿山マラソン 2022 事務局」湧別町教育委員会　社会教育課
電話０１５８６－５－３１３２　FAX０１５８６－５－３７１０
E-mail:shakyo@town.yubetsu.lg.jp

「ゆうべつ五鹿山マラソン 2022」における
新型コロナウイルス感染防止対策について

本大会は新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で開催します。

＜以下に当てはまる場合は、大会の参加をご遠慮ください＞

●体調がよくない場合（発熱や咳、咽頭痛など症状がある場合）

●嗅覚や味覚に異常がある場合

●新型コロナウイルス感染症陽性と診断された方と濃厚接触疑いのある場合

●同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

●過去１４日間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

＜当日にお願いする事項＞

●競技中以外は、原則マスクの着用をお願いします。

●当日受付において手指消毒・検温を実施します。

●ドリンク等のゴミは必ずお持ち帰り下さい。

●感染防止のため大会スタッフに指示された場合は、指示に従って下さい。

●厚生労働省「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」の利用にご協力ください。

●北海道コロナ通知システムへのメールアドレス登録にご協力ください。

北海道コロナ通知システム QR コード

協議第２号

チャレンジデー２０２２について

オープニングイベント「町民ラジオ体操会」スポーツ推進委員従事者確認表

日時・時間	施設名	スポーツ推進委員従事者
日時：５月２５日（水） 時間：６時１５分～ ６時４５分	文化センターさざ波駐車場 （雨天時：多目的ホール）	
	文化センターＴＯＭ駐車場 （雨天時:中湧別屋内ゲートボール場）	
	上湧別農村センター駐車場 （雨天時：多目的ホール）	

チャレンジデー2022

5月25日（水）開催

湧別町は「健康づくり」や「スポーツ活動」の普及・啓発に長年努めてきたことから、少子高齢化が進むなかにあっても、町民の健康やスポーツに対する意識は高く、少年団や部活動、団体やサークル活動が活発です。
「チャレンジデー」に参加し、さらなる「健康づくり」や「スポーツ活動」に取り組みましょう！

◆チャレンジデーって？

毎年5月の最終水曜日に全国一斉に実施され、人口規模が同じくらいの自治体と参加率を競う「住民総参加型」のスポーツイベントです。

- ●年齢・性別を問わず気軽に参加が可能です。
- ●午前0時から午後9時までの間、15分以上の継続した運動やスポーツなどで体を動かした住民の参加率（参加者数÷人口）を競います。
- ●チャレンジデー2022には、全国で68の市町村が参加します。

◆誰が・何が対象になるの？

チャレンジデー当日の午前0時から午後9時までの間であれば、どの時間でも自分のペースで参加できます。

町内で行うものであれば、町民だけでなく、町外からの通勤・通学者や観光客など、誰でも参加できます。

スポーツやトレーニングに限らず、**15分以上継続して体を動かす内容であれば、どんな運動でも構いません。**

例えば、個人や友人、グループで・・・

- **●ウォーキングやジョギング**
- **●パークゴルフやミニバレーなどを楽しむ**
- **●職場の休憩時間に、ラジオ体操やストレッチ**
- **●スポーツ少年団やスポーツサークルの活動に参加**
- **●各団体が実施するスポーツイベントに参加　など**

◆2021年の結果

昨年度は**2,600人**余りの方々に参加いただき、参加率は**31.4%**でした。

◆対戦する相手は・・・

秋田県　八峰町（はっぽうちょう）です！

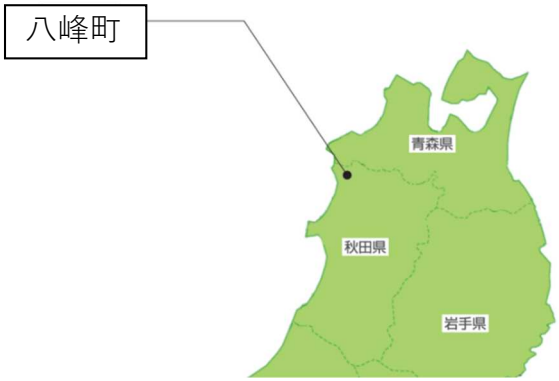
八峰町は、平成18年に2つの町と村が合併して誕生した人口6,693人の町です。秋田県の北西部に位置し、町内の一部は秋田白神県立自然公園や八森岩館県立自然公園に指定される自然豊かな町です。日本海に面していて、ハタハタやアワビなどが特産品です。
チャレンジデー2019では「参加率72.7%」を記録した強敵です！

2021年の様子

ドッジボール（富美小学校）

大筋クラブ（社会福祉会館）

のびのび体操（湧別保育所）



5月25日(水)開催

◆参加できるイベント

各種イベントを実施しますので、皆さんの参加をお待ちしています。

●参加型　参加された方には参加賞を贈呈します。

※②～⑥は事前申し込みや会員登録が必要となります。

①オープニングイベント 町民ラジオ体操

●6:15～6:45　文化センターTOM
文化センターさざ波
上湧別農村環境改善センター

スポーツ推進委員がラジオ体操やストレッチなどの指導を行います。

②親子リトミック講座

●10:00～11:00　湧別子育て支援センター体育館

身体全体や五感すべてを使って、音感・リズム感・想像力・表現力・協調性・社会性・集中力などを養い・育てるリトミック教室（音楽教室）を実施します。

③健康ヨガ体操

●10:30～11:30　湧別総体
●13:30～14:30　中湧別総体

若々しく健康を保つための美容や健康によいエクササイズとして人気のヨガ教室を実施します。

④大筋（たいきん）クラブ

●　9:30～10:30　文化センターさざ波
●13:30～14:30　社会福祉会館

健康運動指導士が介護予防のためのストレッチ・有酸素運動・筋トレなどの運動教室を行います。

⑤チューリップフェア ウォークスタンプラリー

●10:00～15:00　チューリップ公園

チューリップ公園マップのヒントをもとに、公園内に設置されたスタンプを探しながら、園内を散策します。

⑥ほぐしてピラティス 6日間チャレンジ!!

●19:30～20:00　中湧別総体

体をほぐしながら鍛えて、本来の体の動きを取り戻し、ボディを整えるエクササイズを行います。
※5/17～5/25 の 6 日間実施

●個人や仲間と

⑦スポーツ施設無料開放

総合体育館、プール、パークゴルフ場

5 月 25 日(水)に限り、スポーツ施設を無料開放します。ぜひご利用ください。

※予約がある場合は、予約が優先

●Web 配信　全国共通のイベントです

⑧My ながら運動 SP

Web 配信（YouTube にて配信）

ながら運動で健康課題を解決！
「目の疲れ解消編」
「腰痛解消編」　の２本です。

⑨アスリートと一緒に うちチャレ

Web 配信（YouTube にて配信）

サッカー元日本代表の加地亮さんと、柔道元日本代表の谷本歩実さんが出演するお家でできる運動動画の２本です。

各イベントの詳細は、4 月 25 日発行「かわらばん」、町ホームページをご覧ください。

◆参加報告

●個人や家族で運動をした場合

パソコン・スマートフォンから湧別町ホームページにアクセスし参加報告

町ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ

●町内イベントに参加した場合

各会場の受付で住所・氏名を記入

チャレンジデー公式ホームページ
（https://www.ssf.or.jp/dotank/challengeday/2022/index.html）

新型コロナウイルス感染状況により、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等が発令された場合は、実施内容を変更することがあります。

スポーツ推進委員　各所で共通ストレッチ

★立って行うストレッチ

立って行うストレッチには、姿勢を意識しやすくなる。日常生活動作を楽にする。

バランス能力の向上すなどの効果があります。

■全身のストレッチ・背伸び

両手を組み天井に伸ばしましょう。

少し胸を張るようにするとよく伸びます。

■首のストレッチ

①首の横のストレッチ：首を横に傾け、反対の手でサポートしましょう。

②首の後ろのストレッチ：頭を前に倒し、両手でサポートしましょう。

③首の前のストレッチ：上を向き、両手でサポートしましょう。

■肩のストレッチ

伸ばしたい側と反対の腕でクロスさせます。

腕を反対側に引っ張るようなイメージです。

■腕のストレッチ

腕①（手のひら側）：手のひらを上に向けて腕を前に伸ばします。反対の腕で指先を反らせるように下に引っ張ります。

腕②腕を曲げ、肘を天井に向けます。反対の腕で肘を天井に伸ばしていくようにサポートしましょう。

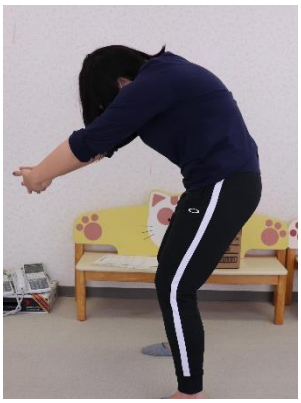
■胸のストレッチ

腕を後ろで組み、胸を開きましょう。

顔はやや上を向きます。

肩回りは力を抜きましょう。

■背中のストレッチ

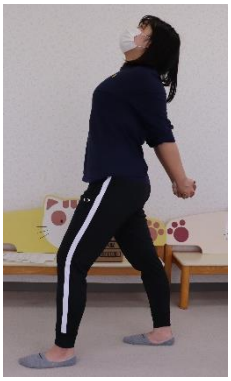


身体の前で腕を組み、背中を丸めながら

腕を遠くに押し出しましょう。

目線はおへそに向けます

■お腹のストレッチ



どちらでもいいので片足を一歩後ろに引きます。

両手を組んで天井に伸ばし、お腹を前に突き

出すようなイメージで胸を反らしましょう。

■もも裏のストレッチ

足を一歩前に出し、身体を前に倒しましょう。

反対の膝は軽く曲げておきます。

★自分の生活の中に取り入れるイメージはできましたか？楽で簡単なのに効果的があるので、ぜひ続けてみてください！！

協議第3号

（推進目標と推進項目）

スポーツ活動・スポーツ施設の推進目標	明日の元気は、きょうのスポーツから　みんなで体を動かし楽しもう

項目		課題解決のための方策	方策に対応する事業等の取組み状況（担当職員によるふりかえり）	委員からの意見・課題等
人、自然、ふるさとから学び、地域と共に生きる	生涯スポーツの普及	●ライフステージに応じた各種教室、講習会、大会などスポーツに親しむ機会を定期的に提供し、健康や体力づくりの増進とスポーツを通じた住民相互の交流の推進に努めます。	小学低学年に対するチャレンジスポーツスクールや小・中学生・一般に対するランニング教室、その他一般向けの各種教室やスポーツ大会のほか、高齢者でも参加できる健康運動教室など、各年代それぞれのライフステージに合った事業を行うことで、町民の健康・体力増進や運動を始めるきっかけづくりが図られている。	
		●スポーツ合宿者による教室や講習会、町民とのふれあいや交流の機会の充実に努めます。	町内において合気道や柔道など各スポーツ合宿が行われ、合宿者が持つ高いレベルの技術に触れる機会を提供することにより、町民のスポーツへの意識高揚と交流が図られている。	
		●スポーツに特化した楽しい一日を過ごす「町民皆スポーツの日」の創設を目指します。	住民総参加型のスポーツイベントである「チャレンジデー」に参加し、町民の健康づくりや体力づくり、スポーツやレクリエーション活動への参加意欲の高揚と習慣化が図られている。	
	活動等の支援	●体育協会やスポーツ少年団など関係団体の育成と自主的な活動支援に努めます。	自主的な活動を支援するための補助を適正に行うことができた。体育協会主催の五鹿山スキー場を駆け上がる「五鹿山マラソン」を開催しているが、教育委員会に委ねられており自主的な活動に至っていない。	
		●スポーツ用具等を整備することにより、スポーツを始めたい方の支援に努めます。	町民の健康維持・増進と体力の向上を目的として、湧別総合体育館トレーニングルームにリース機器7台と購入機器7台の整備を図った。運動指導職員によるトレーニング機器を使った指導、運動相談、トレーニングメニューを提供することにより町民の健康づくりの意識が高まってきており、利用者の増加が図られている。	
		●スポーツ推進委員等によるニュースポーツの研究・普及を図り、町民の健康増進に貢献します。	チャレンジスポーツスクールにおいて、「フロアボール」や「タグラグビー」など普段経験することのできないニュースポーツを経験させている。また、中湧別総合体育館の大規模改修工事に併せ、施設の特色として、新たにバランス感覚や集中力などを鍛えられる「ボルダリング」と「スラックライン」の設備を設置し、町民が楽しみながら体力の増進が図られている。職員・スポーツ推進委員の研修において、既存のスポーツから新たなスポーツまで、今後の取り組みに活かすべき分野の研究に努めている。	
		●「するスポーツ」に加え、「支えるスポーツ」として大会等の支援を行うボランティアの確保に努めます。	サロマ湖100kmウルトラマラソンにおいて、中・高校生、一般町民がボランティアとして参加することにより、「支えるスポーツ」としてボランティア意識の高揚が図られている。	
	学習環境づくり	●町民のスポーツ活動を推進する指導者の育成や養成を図り、指導体制の充実に努めます。	スポーツ少年団やスポーツ団体における会員の減少や指導者が不足しており、横の繋がりもない状況である。今後、町内で活動している各団体やスポーツ推進委員等と連携しながら考えていかなければならない。	
		●著名な外部講師等の招聘により、技術向上の習得に努めます。	各教室の開催にあたり、専門的な知識・技能を持つ外部指導者を積極的に招聘してきた。種目によっては世界的な技術を持つ方も招聘しており、スポーツに対する意欲の向上や高度な技術習得の支援に努めることができた。	
		●スポーツインストラクター等による個々の体力に応じた運動メニューの作成を推進します。	月２回実施している一般町民を対象とした、「健康運動教室」やトレーニングルームにおいて器具等を使った個人指導、運動相談、運動メニューを提供することにより、町民の健康維持増進と体力の向上が図られている。	
	連携・ネットワーク	●住民のニーズを踏まえながら利用しやすいスポーツ施設の計画的な改修等と適正や管理運営、利用実態に即した開館を目指します。	住民のニーズを踏まえ利用しやすい管理運営や定期的な保守点検・修繕等を通じて適正な維持管理が図られている。また、指定管理者と連携し、各施設ともに町民が快適に利用できるよう、利用者の意見・要望を聞き入れながら、施設の整備・補修等環境づくりに努めている。	
		●健康福祉分野との連携を図り、運動やスポーツを取り入れた町民の健康づくり教室の開催に努めます。	福祉課の高齢者を対象とした介護予防教室「大筋クラブ」や健康子ども課の乳幼児を持つ保護者を対象とした「子育て支援センター事業」と連携し、運動指導職員が講師として指導することにより町民の健康づくりが図られている。	
		●体育協会やスポーツ少年団、自治会、関係団体等との連携を図り、町民みんなで楽しめる生涯スポーツの推進に努めます。	「町民300歳バレーボール大会」の開催にあたり自治会との連携や「五鹿山マラソン」の開催にあたっては、体育協会との連携が図られている。今後もネットワークを繋げることで、何ができるのかを考えていかなければならない。	

協議第４号　　第３次社会教育中期計画について

○計画書の構成（案）について

はじめに　・・・策定の経緯、趣旨、検討状況など

第１章　社会教育中期計画の基本構想
　第１節　計画策定の意義
　第２節　計画策定の基本方針
　第３節　計画策定の方法
　第４節　計画の名称及び期間

第２章　社会教育中期計画の基本
　第１節　湧別町総合計画
　第２節　教育目標
　第３節　学校教育目標
　第４節　社会教育目標
　第５節　社会教育推進の構造

第３章　社会教育の現状と課題・推進目標
　第１節　家庭教育の現状と課題・推進目標・推進項目
　第２節　少年教育の現状と課題・推進目標・推進項目
　第３節　青年教育の現状と課題・推進目標・推進項目
　第４節　成人教育の現状と課題・推進目標・推進項目
　第５節　高齢者教育の現状と課題・推進目標・推進項目
　第６節　芸術文化活動と文化施設整備の現状と課題、推進目標・推進項目
　第７節　図書館活動の現状と課題・推進目標・推進項目
　第８節　博物館活動・文化財保護活動の現状と課題・推進目標・推進項目
　第９節　スポーツ振興とスポーツ施設整備
　　の現状と課題・推進目標・推進項目
　第１０節　生涯学習の基盤整備と社会教育施設整備
　　の現状と課題・推進目標・推進項目

付属資料
　第３次湧別町社会教育中期計画の策定について（諮問）
　第３次湧別町社会教育中期計画の策定について（答申）
　第３次湧別町社会教育中期計画の審議経過
　湧別町の概要
　社会教育関係団体
　社会教育関連施設
　社会教育関係委員
　教育委員会社会教育課職員

〇基本構想（案）について

第１章　社会教育中期計画の基本構想

第１節　計画策定の意義

本町の社会教育は、「人、自然、ふるさとから学び、地域と共に生きる」をテーマとした第２次社会教育中期計画（平成３０年度から令和４年度）に基づき、人と人とのつながりを大切にしたまちづくりを念頭において社会教育活動を推進してまいりましたが、本計画も最終年度を迎えることとなります。

この間、少子高齢化のさらなる加速、急速に進むデジタル化、SDGs に代表されるエネルギー・環境への取り組みなど、社会環境はめまぐるしく変化しています。特に、新型コロナウイルス感染症による影響は大きく、長期にわたる自粛生活やイベントの中止など、人と人との接触機会の減少によって地域コミュニティの衰退が大きな問題となる一方、オンラインを活用したデジタル技術が一気に普及するなど、コロナ禍を機に私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。

このような社会情勢の中で、町民の皆様がこの地域で相互に学びあい、その力を地域で発揮できるような環境を整備し、社会教育の基本である人との繋がりを大切にしながら、感染症対策を両立させる新たな事業スタイルの確立が求められております。

これらのことから、第２次計画の反省・評価を踏まえ、令和４年３月に策定された第３期湧別町総合計画との整合性を図りながら、社会教育行政の目的・目標・その達成のための方策・事業等を体系的に整理することによって効果的かつ効率的な行政運営を図るための指針となる第３次社会教育中期計画を策定するものです。

第２節　計画策定の基本方針

令和４年３月に策定された「第３期湧別町総合計画」と、平成２４年２月に策定された「湧別町教育目標」の理念を基本とし、さらに第２次計画の反省・評価から各領域の課題を踏まえ、今後５年間における社会教育推進の計画を策定します。

また、単年度における反省・評価の検証を行い、中間地点での見直しなどの検討を加え、本計画で示す目標に向け社会教育の推進を図っていくものです。

この計画は、社会教育の施策を展開するうえで基本となるものであり、町民の主体的な学習活動が図られ、地域づくりへの参画が促進されるよう地域の教育力の充実を目指し、具体的な施策の推進を図ります。

第３節　計画策定の方法（仮）

計画策定の第１段階として現状と課題の把握のため、第２次計画のふりかえり（反省・評価・課題の洗い出し）を重視しました。第２段階は目標と施策について協議を行いました。この中で、「生涯学習の基盤整備、社会教育施

設、少年教育、青年教育」「家庭教育、成人教育、高齢者教育」「芸術・文化活動、博物館活動・文化財保護活動、文化施設」「図書館活動」「スポーツ振興、スポーツ施設」の５つの専門部会を設け、より深い討議を行いました。

計画案の策定にあたっては社会教育委員が行いますが、図書館部会およびスポーツ部会にあっては、一定の分野においてより地域住民に身近でかつ専門性の高い図書館協議会委員とスポーツ推進委員による部会運営を依頼し、社会教育委員はオブザーバーとして参加することで、その意見を最大限反映できるよう努めました。

第４節　計画の名称及び期間

この計画の名称は「湧別町第３次社会教育中期計画」と称し、期間は令和５年度から９年度までの５年間とします。

＜参考＞これまで策定された社会教育中期計画

①合併前

湧別町第１次社会教育中期計画	（昭和６２年度～平成　３年度）
湧別町第２次社会教育中期計画	（平成　４年度～平成　８年度）
湧別町第３次社会教育中期計画	（平成　９年度～平成１３年度）
湧別町第４次社会教育中期計画	（平成１４年度～平成１９年度）
湧別町第５次社会教育中期計画	（平成２０年度～平成２４年度）
第１次上湧別町社会教育中期計画	（昭和６１年度～平成　２年度）
第２次上湧別町社会教育中期計画	（平成　３年度～平成　７年度）
第３次上湧別町社会教育中期計画	（平成　８年度～平成１２年度）
第４次上湧別町社会教育中期計画	（平成１３年度～平成１７年度）

②合併後

湧別町第１次社会教育中期計画	（平成２５年度～平成２９年度）
湧別町第２次社会教育中期計画	（平成３０年度～令和　４年度）

第２章　社会教育中期計画の基本

第１節　第３期湧別町総合計画（令和４年３月策定）

人と自然が輝くオホーツクのまち　　（将来像）
ともに考え、ともに行動し、みんなでつくる協働のまちづくり（基本理念）
豊かな心とふるさとを愛する心を育むまちづくり（教育文化分野）

第２節　教育目標（平成２４年２月策定）

社会に参画できる実践的な能力をはぐくむ
自他を尊重し、ともに支える豊かな心をはぐくむ
自らを律し、自ら行動する積極的な心をはぐくむ
健やかな体と生命を尊ぶ心をはぐくむ
自然・環境を守り、伝統と文化を尊重し、郷土を愛する態度をはぐくむ

第３節　学校教育目標（平成２４年２月策定）

自ら学んで、知性を高め、正しく判断する子どもを育てる
思いやりの心を持って、お互いに協力する子どもを育てる
忍耐力と自律の心を持ち、進んで行動する子どもを育てる
健やかな心身を持ち、自他の生命を尊重する子どもを育てる
ふるさとに学び、ふるさとを愛する子どもを育てる

第４節　社会教育目標（平成２５年３月策定）（仮）

領域ごとの「現状と課題」の集約・審議を経た際に、
見直しについて検討する。

自ら学び、地域に生かせる人を支える

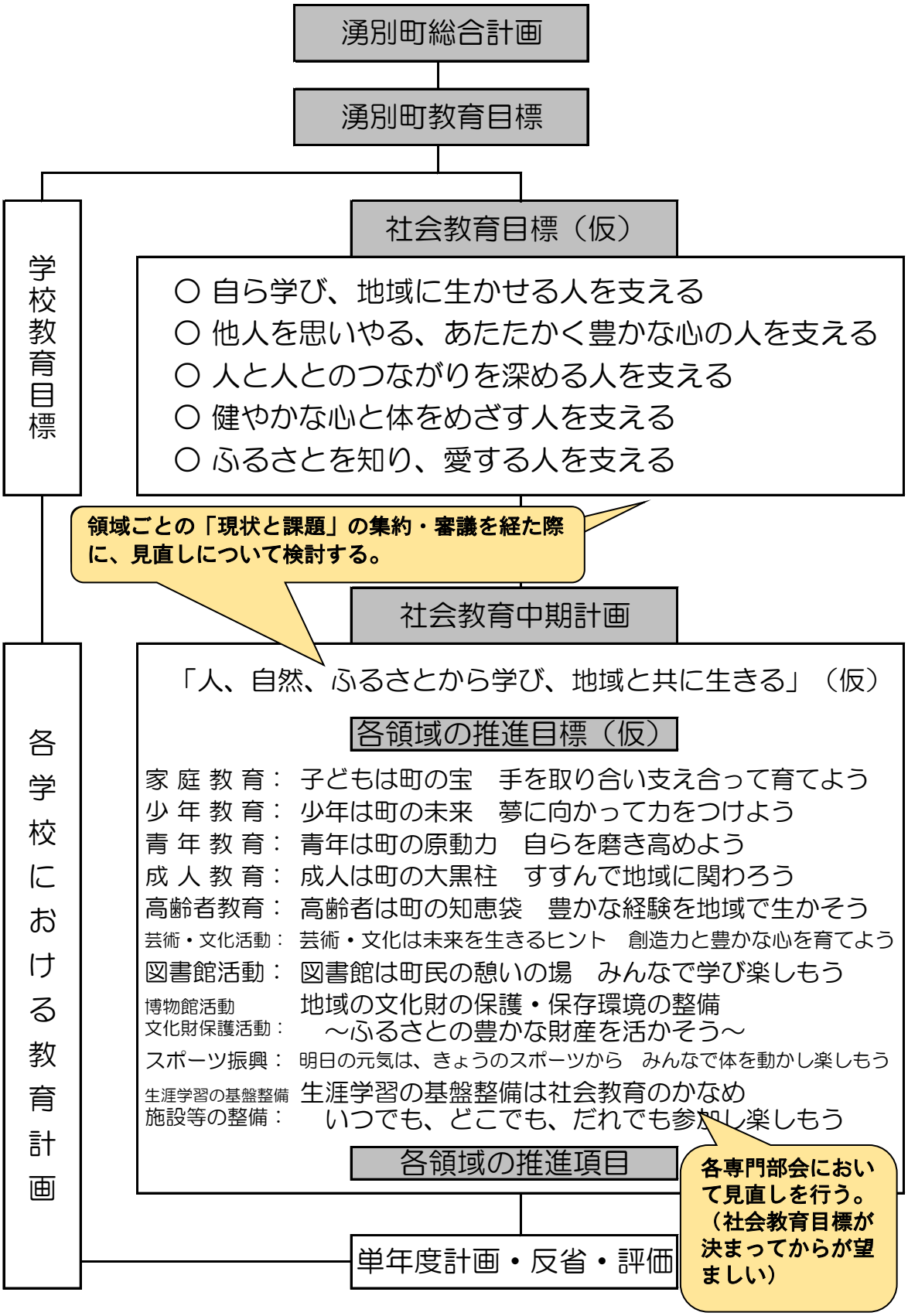
他人を思いやる、あたたかく豊かな心の人を支える

人と人とのつながりを深める人を支える

健やかな心と体をめざす人を支える

ふるさとを知り、愛する人を支える

第５節　社会教育推進の構造（案）



令和４年　　月　　日

湧別町スポーツ推進委員長　様
湧別町図書館協議会委員長　様

湧別町社会教育委員の会
委員長　深　谷　　聡

第３次湧別町社会教育中期計画の策定にかかる意見の聴取について（依頼）

これからの湧別町の５ヵ年（令和５年度から令和９年度）の第３次湧別町社会教育中期計画の策定については、別添写しのとおり令和４年４月２６日付けで湧別町教育委員会からの諮問を受け、令和５年３月の策定に向けて審議を進めることとしております。

つきましては、つぎのとおり貴団体としての意見集約を賜りますようお願い申し上げます。

記

担当領域

スポーツ推進委員：「社会教育の現状と課題・推進目標」
（スポーツ振興・スポーツ施設領域）

図書館協議会委員：「社会教育の現状と課題・推進目標」
（図書館活動領域）

意見集約の方法

事務局作成の素案について専門部会による審議を行い意見集約願います。

報告の期限

別添のスケジュールにより報告願います。

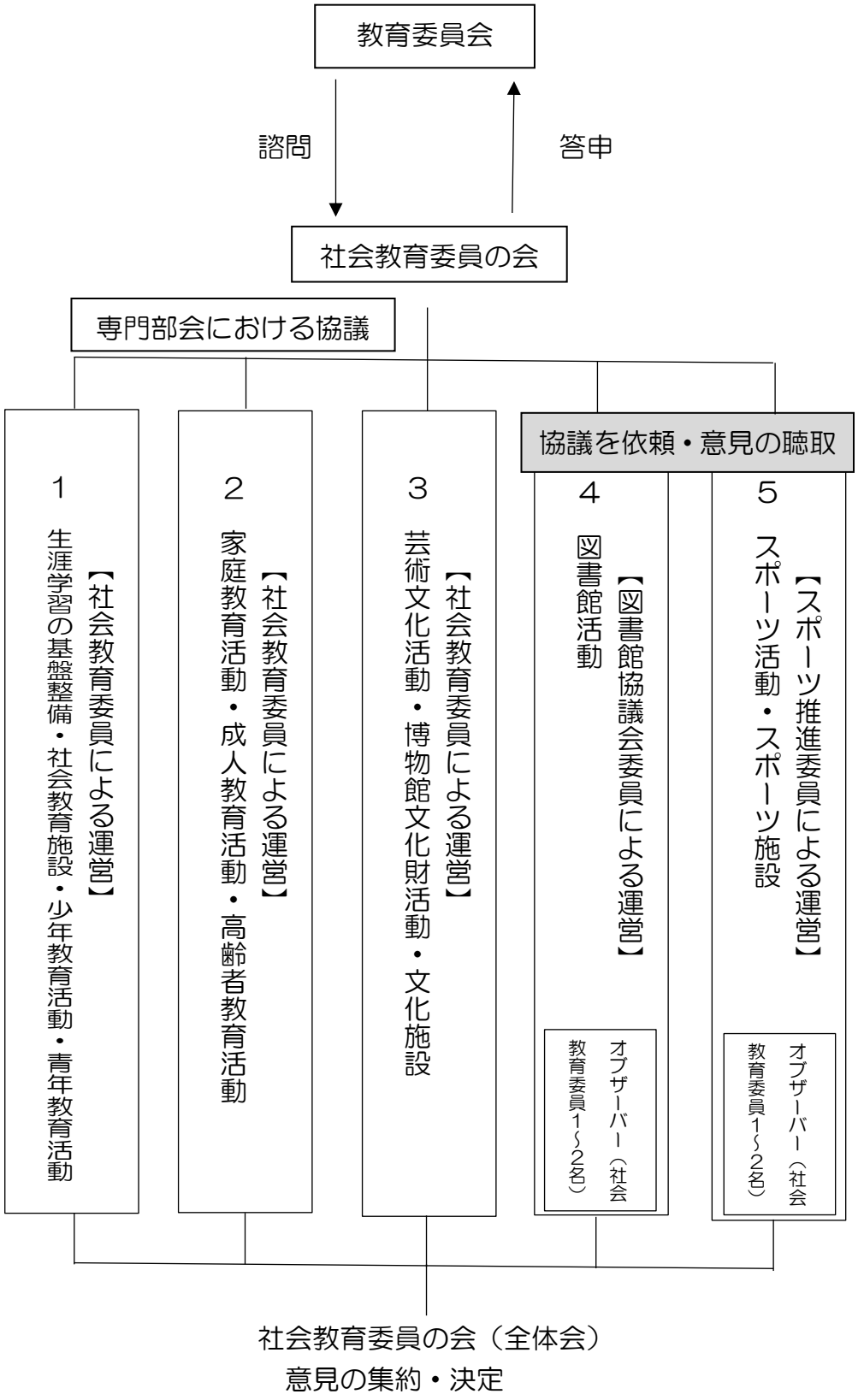
その他

審議にあたってはつぎの資料等を参考に共通認識を図っていただくようお願いいたします。また、途中、社会教育委員の会による全体の中間集約を経た後に、再度審議いただくなど連携をとりながら進めてまいりたいと存じますのでご協力願います。

・第３次湧別町社会教育中期計画策定の諮問書（写）
・第３次湧別町社会教育中期計画書の構成
・第３次湧別町社会教育中期計画の基本構想

（事務局：教育委員会社会教育課社会教育グループ）

図書館協議会委員・スポーツ推進委員との関わり



協議第５号

湧く湧く「社会教育委員のある一日」記事寄稿の順番について

令和４年度予定

※原稿締切日の１カ月前くらい前に依頼文書を送付いたします。

社会教育委員	スポーツ推進委員	図書館協議会委員	計画	原稿締切日
毛利　美紀子			Ｒ４年　４月号	３月下旬
	海谷　政貴		Ｒ４年　５月号	４月下旬
渡辺　香織			Ｒ４年　６月号	５月下旬
	岸下　綾乃		Ｒ４年　７月号	６月下旬
鈴木　由美子			Ｒ４年　８月号	７月下旬
		未定	Ｒ４年　９月号	８月下旬
	木村　栄		Ｒ４年　１０月号	９月下旬
工藤　雄希峰			Ｒ４年　１１月号	１０月下旬
	峯田　ゆかり		Ｒ４年　１２月号	１１月下旬
三橋　裕介			Ｒ５年　１月号	１２月下旬
		未定	Ｒ５年　２月号	１月下旬
	岸　貴元		Ｒ５年　３月号	２月下旬